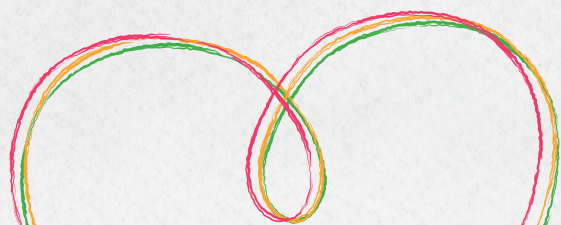




無理なく、続けられる

ナチュラープラス®

The Global Healthcare Company



笑顔のために、地球のために、今、私たちにできること

社会貢献活動レポート 2014



次のページへ

笑顔のために、地球のために、 今、私たちにできること。

私たちナチュラリープラスは、人と人との絆を何よりも大切にし、
人の「絆」が原動力となるダイレクトセリングを通して
地球全体を健康に導く健康支援企業を目指しています。

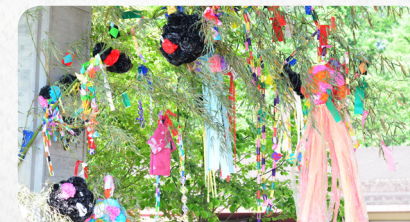
かけがえのない地球。そこで暮らす私たちは、みんな同じ「宇宙船地球号」の一員です。
人種や国境を越えた一つの共同体の中で、笑顔のために、地球のために私たちにできること。
一人では微力でも、会員の皆さまとの強い絆のチカラを合わせることで
社会に役立つ活動の輪が大きく広がっていく。

NEXT100 地球に笑顔 ナチュラリープラス

私たちの社会貢献活動はこのポリシーのもと、「こども支援活動」「盲導犬育成支援活動」
「環境保全活動」の3つの社会貢献活動に取り組んでいます。

ヘルスケアカンパニーとして社会と共生しながら成長を続けるためには何が必要かを常に考え、
社会貢献活動を通じて世界中の人々が健康で、幸せに包まれる社会の実現を目指します。

そして目の前にある状況だけでなく、先をも見越した息の長い貢献、
単なる寄付や物資支援にとどまらない、「参加型」の貢献をよりグローバルに展開し、
会員の皆さまと共に取り組んでまいります。





NEXT100 地球に笑顔 ナチュラリープラス

これはナチュラリープラスの社会貢献活動のスローガンです。

100年後の未来にも社会のために必要とされる企業であり続けることを目指すとともに、
思いやりと優しさにあふれた社会が100年といわず、その先も続くよう、
企業としてできることに真摯に取り組んでいこうという強い思いが込められています。

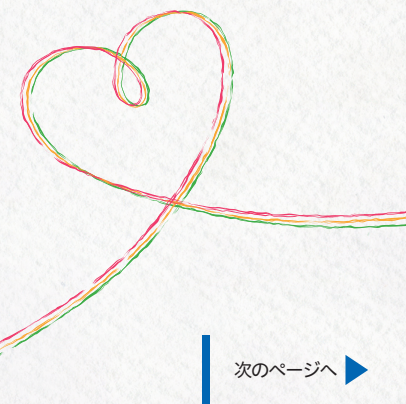
こども基金などを通じて、会員の皆さまからの温かな思いやりをいただきながら
地球規模でビジネスフィールドを提供する企業として、
新しいスローガンのもと、ナチュラリープラスらしいグローバル規模での社会貢献活動
を進めています。

ここにお届けする社会貢献活動レポートは、
こうしたナチュラリープラスの企業活動のご紹介をさせていただくものです。
これからもよりよい社会の実現を目指したナチュラリープラスの社会貢献活動に、
何とぞご理解とご協力を賜りたく、今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



株式会社ナチュラリープラス
代表取締役社長

名越 隆昭





社会貢献活動の概要

笑顔あふれる地球のために、私たちができること。
一人のチカラは微力でも、
会員の皆さまとチカラを合わせることで
社会に役立つ活動の輪が大きく広がっていく。
笑顔のために、地球のために。
ナチュラリープラスの社会貢献は
会員の皆さまとの強い絆のチカラでできています。



社会貢献活動
シンボルキャラクター「なっぴー」

社会貢献活動の概要

こども支援活動



盲導犬育成支援活動



環境保全活動



ナチュラリープラスがこれまで取り組んだこと (2014 年 12 月現在)

サマーキャンプ「がんばれ共和国」を通して、延べ**5,913名**の難病の子どもたちとその家族、ボランティアなどの支援者を支えています。

盲導犬育成支援活動で**1,100名**以上の子どもたちや大人たちに盲導犬の必要性について学ぶ機会を作りました。

ギニア共和国ボッファ市に学校を建設し、**100名**以上の子どもたちが小学校を卒業しました。

育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちの夏の遊育事業で**227名**が生命の尊さや人と人との絆について学びました。

全国各地の海岸、河川、公園の清掃に**2,664名**が参加、**691袋**(90L / 袋)のごみを回収しました。

視覚に障がいがある児童・生徒・学生のためのヘレン・ケラー記念音楽コンクールにて**176名**の子どもたちに音楽を通じて夢を与えました。



地球上の全ての子どもたちの笑顔のために

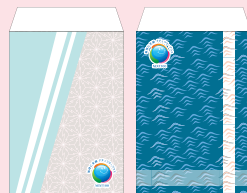
子どもたちの笑顔は地球全体のかけがえのない財産です。
子どもたちの幸せは、地球の幸せです。
でも、病気や家庭の事情、貧困や災害といった不可抗力により笑顔の毎日がかなえられない現状があるとしたら、いま、私たちにできることは何でしょう。
ナチュラリープラスは
子どもたちが笑顔にあふれた毎日を送れる社会の実現を支援しています。



ナチュラリープラスこども基金

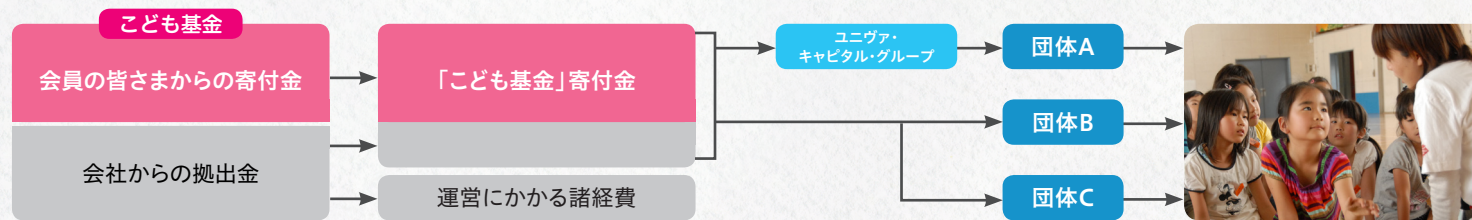
貧困や災害、原因不明の難病、いじめや虐待などに苦しんだり悩んでいる子どもたちがいます。私たちは世界中の全ての子どもたちが“笑顔”で過ごせるよう、2008年9月「ナチュラリープラスこども基金」を設立いたしました。「100円」の寄付金が付いた「こども基金付き製品」による寄付金とナチュラリープラスの拠出金を合わせ、子どもたちを支援している各団体へお送りしています。あなたの寄付が子どもたちの笑顔になります。

こども基金に寄付された方には、社会貢献活動シンボルキャラクター「なっぴー」をあしらった「社会貢献オリジナルぼち袋」(3枚1セット)を製品と共にお届けいたします。
※ぼち袋のデザインは全部で4種類あります。



ナチュラリープラス
こども基金

「こども基金」寄付金の流れ



「こども基金付き製品」のご購入やサロン募金など、会員の皆さまからの寄付金が「こども基金」へ繰り入れられます。会社からも支援金を拠出します。

会員の皆さまからの寄付金は、子どもたちへの支援活動のみを用途としています。「こども基金」運営にかかる経費は、会社拠出金の一部で賄います。

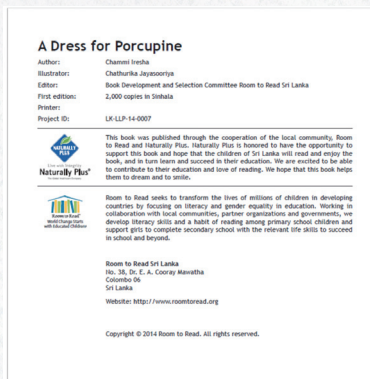
子どもたちを支援している各団体へ寄付金をお送りしています。

“100円の思いやり”が、未来を担う子どもたちのための活動に役立てられます。



ナチュラリープラスの寄贈メッセージ付き現地語出版プログラムを支援

現地語出版プログラムとは、現地の作家やイラストレーターを発掘し、オリジナルの児童書を出版するプログラムです。発展途上国では、母国語で書かれた子ども向けの本はとても少ないのですが、このプログラムにより、子どもたちの年齢や文化にふさわしい内容が現地語で書かれた絵本をお届けすることができます。ルーム・トゥ・リードが支援する学校や図書館に寄贈されます。本の裏表紙にはナチュラリープラスの社名ロゴや寄贈メッセージが掲載されました。



NPO法人 ルーム・トゥ・リード・ジャパン

「子どもの教育が世界を変える」
この信念のもと、活動を行っています。

世界中には、読み書きのできない子どもたちが今なお2億5千万人以上もいます。日本にいたるとその切実さはなかなか理解するのが難しいのですが、命にかかわることさえあります。そして何より、本を通じて知ることのできる「大きな世界」への道が閉ざされてしまうのです。教育という最大の贈り物を、ルーム・トゥ・リードを通して全ての子どもに提供していきたい。これが、私たちの究極の目標です。このたびは、温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。



事務局代表
松丸佳穂氏



サマーキャンプ“がんばれ共和国”七タキャンプ

難病の子どもたちとそのご家族が医療スタッフのバックアップのもと、「友だちつくろう」を合言葉に楽しい時間を過ごしました。

- 開催場所 「ゆと森倶楽部」(宮城県蔵王町)
- 開催日 2014年8月1日(金)～3日(日)
- 参加者数 25家族150名(医療・介護スタッフ、ボランティアの方を含む)



認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

原因が不明、治療法が確立されていないなどの難病や慢性疾患とたたかう25万人以上の子どもたちとその家族を支えています。

子どもたちの“明日を生きる力”
を支えています。

全国各地で行っている「がんばれ共和国キャンプ」は、希望者が多く「キャンセル待ち」の状態ですが、2014年は全国8カ所で開催できました。深く感謝しております。難病で苦しむ子どもたち、その親、関係者が出会い、さまざまな思いを共有する貴重なひとときです。末永くご支援いただけたらうれしく思います。



認定NPO法人
難病のこども支援全国ネットワーク
会長 小林信秋氏

VOICE

- 他の家族の方と一緒に食事ができたり、乗馬での交流など楽しい出会いがたくさんあったり、皆さんに感謝したいです。とても楽しかったです。来年もまた来たいです。
- 蔵王の緑や山、自然を子どもが楽しみにしています。普段は入れない大きなお風呂にみんなで入れるのもこのイベントならではの体験です。
- 同じ境遇の親同士の会話ができて、悩みを話せるのが良かったです。健常者の兄弟もボランティアで参加していて、良い教育の機会になっています。
- お母さんだけのティータイムで同じ境遇の方とゆっくりお茶を飲みながら、話せたのが良かったです。
- 参加するのに不安があったのですが、ボランティアの皆さん、スタッフの皆さんのおかげで素晴らしい時間を過ごせました。仲良くなれた皆さんとのお別れがづらいです。

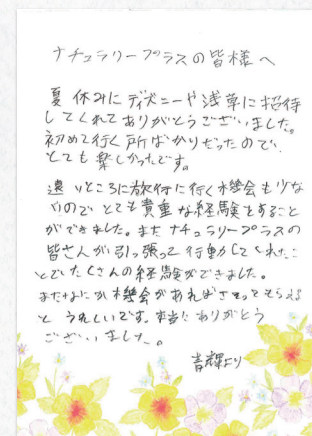
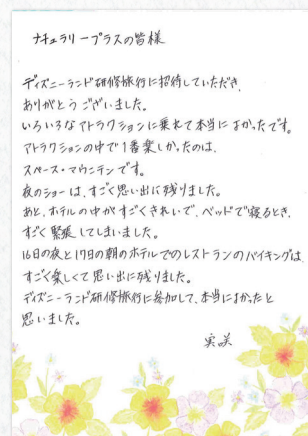
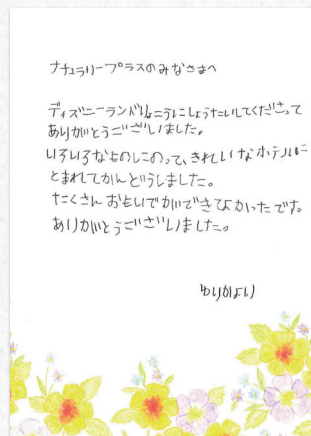
夏のおもてなし研修

京都にある3つの児童福祉施設と1つの母子施設の子どもたちが東京ディズニーランドのホスピタリティを通して「サービス・働く」ということを学びました。

- 開催場所 東京ディズニーランド
- 開催日 2014年8月16日(土)～17日(日)
- 参加者数 42名(支援者、ボランティアの方を含む)



<子どもたちからのお手紙>



NPO法人「子どもの村 Kyoto」

育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちやそのご家族へのカウンセリング、児童虐待防止の啓蒙、子育て支援などに取り組んでいます。

傷ついた子どもたちが、『こども基金』の活動で、将来に希望をもてるようになり、笑顔で未来を見つめています。

今回は、「サービス・働く」ということを学ぶ宿泊研修を実施しました。心にしっかり刻まれた思い出は、今後も生きる原動力となるはずです。このようなイベントは末永く継続してこそ意味があります。会員の皆さまと共にこのイベントを継続していただけたらと思います。これからもよろしくお願いいたします。



NPO法人
「子どもの村 Kyoto」
山中康裕氏

VOICE

- 無表情が多い子なのに表情が生き生きしている。(スタッフの声)
- 企画の時点から普段は集まって話し合いなどしない子どもたちが、自分から打ち合わせを設定するなど、いつもより積極的に自分から行動するようになった。(スタッフの声)
- もしナチュラープラスが支援していなければ、この感動を感じることは大人になるまでなかったかもしれない。こども基金は、こんなうれしい言葉をもらえる素晴らしい活動です。(参加した会員さまの声)
- 感動した！感動しすぎて、鳥肌が止まらなかった！(子どもの声)
- 僕は初めて東京という街に行きました。今までに見たことのないビルが建っていて、これまでにない経験をさせてもらいました。(子どもの声)

「第64回 ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」特別協賛

国内唯一の盲学生のための伝統ある音楽コンクールであり、世界で活躍する音楽家たちを輩出した「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」。その第64回コンクールをナチュラープラスが特別協賛。レベルの高い演奏に、会場は感動に包まれました。

- 開催場所 東京都文京区 トッパンホール
- 開催日 2014年11月15日(土)
- コンテスト参加者数 49名
- 来場者数 350名



社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

コンクールから得た自信を生かし
未来に向かってほしい。

「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」は、視覚に障がいがある児童・生徒・学生のための日本で唯一のコンクールです。音楽家の輩出だけが目的ではなく、子どもたちがこのコンクールで得た自信を生かして未来に向かってほしいと願いをこめて開催しています。温かいご支援をありがとうございます。



社会福祉法人
東京ヘレン・ケラー協会
理事長 三浦拓也氏

社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会とは

1948年のヘレン・ケラー女史の2度目の来日時に集まった基金を元に、1950年に設立された視覚障がい者の支援活動に取り組む社会福祉法人です。ヘレン・ケラー学院、点字出版所、点字図書館、盲人用具センターなど、総合的支援を展開。さらに、1949年から盲学生のための音楽コンクール「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」を開催し、国際的に活躍する音楽家を多数輩出しています。





ナチュラリープラス こども基金

ナチュラリープラスこども基金は、製品購入時にご参加いただける社会貢献活動で、「ナチュラリープラスこども基金運営理事会」が管理・運営しています。毎月運営理事会に活動報告書を提出し、「こども基金」の収支、活動の報告をしています。

理事長 名越隆昭
(株式会社ナチュラリープラス)
代表取締役社長

理事 鈴木隆之 (同・取締役)
水野克裕 (同・取締役)

「こども基金」社内理事 メッセージ

ナチュラリープラスは、健康食品を中心とした製品のご提供によって、地球全体を健康で笑顔に満ちたものにするために事業活動を営んでいます。

製品をお手に取っていただいた皆さまの健康はもちろん、世界中で製品の生産・販売・物流のための雇用を実現し、事業推進のプロセスによって自己実現を果たす会員の皆さまや従業員をサポートしています。

さらにナチュラリープラスの事業活動から生み出される社会的貢献がよりいっそう大きなものとなるように、ご賛同いただける皆さまのお力を借りながらさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。お力添えいただいている皆さまには、この場を借りまして深く感謝申し上げます。

おかげさまで昨今はナチュラリープラスのみならず世界各国に展開するグループ企業や協力パートナー、ユニヴァ・キャピタルグループとの協業によって、その活動は規模感を増してきております。

活動の中でも特に私たちは地球の未来を担う子どもたちの笑顔を重点的にサポートしていきたいと考えています。世界中の人々の健康を支える画期的な製品を開発して、ナチュラリープラス製品を基点とした健康づくりを世界中でスタンダードにしていく。そして宇宙船地球号の健康を最大化するグローバル企業として社会に貢献する。これがナチュラリープラスの社会貢献ビジョンです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



株式会社ナチュラリープラス取締役
水野克裕

「ナチュラリープラス こども基金」第16期収支報告

前期繰越金残高 (2013/8/31)		¥ 10,841,392
当期収入	「こども基金付き製品」寄付金	¥ 5,983,600
	サロン募金箱など	¥ 150,319
	当期収入合計	¥ 6,133,919
当期支出	特定非営利活動法人 子供地球基金	¥ 1,000,000
	NPO法人「子どもの村 Kyoto」	¥ 3,000,000
	ヘレン・ケラー記念音楽コンクール	¥ 3,747,975
	NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク	¥ 3,000,000
	その他・諸費用	¥ 353,174
	当期支出合計	¥ 11,101,149
基金残高		¥ 5,874,162

(2013年9月1日～2014年8月15日現在)

不安を、安心に変えるために。喜びを、さらに大きくするために。

「盲導犬と出かけるようになって、今まで以上に外出が楽しみになった」という方がいます。

「大切なパートナーの盲導犬と一緒にいると、ハーネスを通してお互いの気持ちがわかり合える。だから、寂しくありません」と、そうほほ笑んでくれました。

目が不自由なことで生じるさまざまな不安を、安心に。そして生きる喜びをさらに大きくするために、私たちは盲導犬育成活動を続けてまいります。



日本盲導犬協会セミナー

私たちは公益財団法人日本盲導犬協会の賛助会員として、盲導犬育成の支援活動、啓発活動を行っています。毎年実施している「日本盲導犬協会セミナー」は盲導犬の必要性や、目の不自由な方々を理解し、学ぶ機会となっています。

盲導犬サロンセミナー

全国の各サロンに盲導犬と盲導犬ユーザーをゲストにお迎えし、皆さまに盲導犬に対するご理解を深めていただくセミナーを実施いたしました。

開催日	開催場所	参加人数
2014年 7月 26日(土)	北海道サロン	46 名
8月 2日(土)	大阪サロン	20 名
8月 4日(月)	東京渋谷セミナールームT'sフラッグ	18 名
8月 9日(土)	福岡サロン	20 名



公益財団法人 日本盲導犬協会

盲導犬の育成と視覚障がい者の社会参加を推進し、活動を行っています。実際に盲導犬と触れ合えるセミナーや体験会を行うことで、盲導犬の役割、必要性を伝えています。

**目の不自由な人たちが
暮らしやすい社会の実現に向けて、
共に歩んでいただいています。**

1頭の盲導犬の誕生には、多くの人の力と時間が必要です。盲導犬の引退後も多くのユーザーが新しい盲導犬と歩くことを希望されており、新規に希望されている方へ行き渡らないのが現状です。これから盲導犬を希望している方は、約3,000人。我々は1頭でも多くの良質な盲導犬を育成し続けます。



公益財団法人日本盲導犬協会
神奈川訓練センター普及推進部
飯田篤史氏

VOICE

- とても楽しい雰囲気と有意義なセミナーでした。ハンディキャップのある方に、優しい心を持ってサポートすることを学び、盲導犬スフレちゃんの仕事を子どもたちが真剣なまなざしで見ている様子が、とても印象的でした。
- 盲導犬ユーザーの方と盲導犬スフレちゃんの日常生活がよく理解できました。どんな小さなことでも社会貢献活動を進んでほしいですね。
- とてもいい体験をしました。目の見えない人の大変さも知ることができ、もし自分の前にいたら「手引き」をしてあげたいと思います。



街をキレイにすると、気持ちまでキレイになる。

例えば、人に癒やしを与えてくれる公園を
「ありがとう」の気持ちを込めて清掃する。

青々と輝く木々に囲まれて、みんな生き生きとしている。

街をキレイにすると、気持ちまでキレイになる。

そこに住む人も、街そのものも、きっと笑顔になっていく。

私たちは環境保全の視点から、活動の輪を広げています。



ナチュラリープラス「NEXT100」おそうじキャラバン

100年先まで社会と共に成長する企業を目指す取り組み「NEXT100」の一環として、海岸や公園、道路など自分たちの身近な地域の環境を保護するために、全国各地の会員の皆さまと共に清掃活動に取り組んでいます。



これまでのおそうじキャラバン

活動歴	開催日	開催場所	参加人数	ゴミの量
第1回	2008年 7月 4日(金)	静岡県沼津市	230名	約100袋
第2回	2008年 12月 13日(土)	沖縄県那覇市	401名	約150袋
第3回	2009年 5月 17日(日)	大阪府大阪市	340名	約46袋
第4回	2009年 6月 27日(土)	北海道札幌市	192名	約22袋
第5回	2009年 11月 8日(日)	宮城県松島町	632名	約77袋
第6回	2009年 12月 9日(水)	香川県高松市	148名	約165袋
第7回	2010年 6月 5日(土)	東京都大田区	385名	約26袋
第8回	2012年 1月 22日(日)	沖縄県那覇市	127名	約83袋
第9回	2014年 6月 21日(土)	東京都大田区	210名	約22袋

VOICE

- 普通に歩いているときには気付かないような場所にもたくさんのごみが落ちていてびっくりしました。(40代・女性)
- 親子で一緒に参加できて良かったです。“ポイ捨てはダメだよ”と何度も注意するより、今回の1回の体験のほうが子どもの気持ちに何倍も響いたようです。今後も普段自分たちが生活する環境を大切にする意識を持ってもらえたらと思います。(50代・男性)
- そうじを終えた後のスッキリ感と、みんなで取り組むことの連帯感は格別ですね！(30代・女性)
- ごみ拾いは気持ちいいですね！遊歩道と一緒に気持ちもスッキリしました！(60代・女性)



世界に広がる笑顔の輪。



Taiwan

台湾盲導犬協会への支援活動

「台湾盲導犬協会」は“杖以外の選択肢があることを知っていただきたい”との思いから2002年に設立された団体です。ナチュラリープラス台湾では、2005年より積極的に支援を続けています。

- 2014年4月 ナチュラリープラス台湾 10周年野外イベント募金&体験活動
- 2014年6月～9月 ナチュラリープラス台湾 盲導犬・子どもお絵描きコンテスト



喜憨兒社會福利基金會への支援活動

喜憨兒社會福利基金會(CHILDREN ARE US FOUNDATION)とは、心身に障がいのある子どもたちが社会に出たときに困らないように、中学生、高校生のときから自立を支援する団体です。2013年から台北サロンにて心身に障がいのある子どもたちの手作りのお菓子を2時間販売しております。会員の皆さまから「とてもおいしい」と評判でした。

- 毎月恒例サロンで2時間のお菓子販売コーナー(台北サロン)



忠義育兒園への支援活動

忠義育兒園は親が何らかの理由で一緒に暮らせない子どもたちを代わりに育て、子どものために、養子縁組も積極的に協力しています。

- 2014年10月26日
CFC会員の皆さまと子どもたちと一緒に植物園を見学し、手作り写真たてを共同製作しました。最後に子どもたちにバックと文具セットをプレゼントして、楽しい一日を過ごしました。





Malaysia

- “アガペ子どもの家”の子どもたちをクアラ Lumpur サロンに招待してチャリティーイベントを開催しました。



- 献血チャリティー

8月16日にクアラ Lumpur サロンにて献血チャリティーを開催しました。



- 盲人協会への募金活動

サロンに募金箱を設置し、2011年より盲人協会への募金活動を実施しています。

- チャリティーラン

8月23日にコタキナバルにて60名の会員の皆さまと Sutera Harbour 7K Sunset Charity Run に参加しました。



Thailand

- カメリアホームへの募金活動

タイサロンに募金箱を設置、カメリアホームへの募金活動を実施しています。
2014年3月6日、カメリアホームへ訪問し食事の提供。

Camillian Home HP: <http://www.camillianhomelatkrabang.org/>

ジョヴァンニ牧師によって1985年、バンコクで最初のエイズホスピスを設立した後、2008年に障害者、難病児、貧しい孤独を支援する目的で設立。



Indonesia

- 不用品リサイクル

社員と会員の皆さまで協力し、使わなくなった衣料品を Aksi Cepat Tanggap (チャリティー団体) に寄贈しました。(2014年8月)





2000	04	財団法人 日本盲導犬協会への支援活動開始	11	ナチュラリープラスの森候補地の決定 「ナチュラリープラスカップ 第1回視覚障害者ゴルフ大会」への特別協賛
2003	06	日本赤十字社へ寄付金贈呈	2008	02 財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、 会員から寄せられた募金総額(2007年度分)を贈呈
	09	第11回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛	04	「NEXT100」構想発表
2004	10	第1回「盲導犬チャリティ LPGAエバグリーンゴルフカップ」への協賛	06	ミャンマー・サイクロンおよび中国・四川大地震被災地に義援金送付 財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、北海道、福岡サロン)
2005	07	第2回「盲導犬チャリティ LPGAエバグリーンゴルフカップ」への協賛	07	「ナチュラリープラス こども基金」構想発表 静岡県沼津市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催 岩手・宮城内陸地震被災地に義援金送付 日本盲導犬総合センター 盲導犬の里 富士ハーネスにて「夏休み親子体験DAY」開催
	10	第13回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛 NPO法人 バードライフ・アジアへの支援活動開始 ギニア共和国・ボッファ市への学校建設支援	08	財団法人 日本盲導犬協会 仙台、神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
2006	01	ナチュラリープラス 社会貢献ポリシーの発表、参加型支援活動開始	09	「ナチュラリープラス こども基金」開始 第16回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」へ支援開始
	07	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、福岡サロン) NPO法人 バードライフ・アジア協働プロジェクト 「ナチュラリープラスの森説明会&自然観察会」開催(東京、北海道サロン) 財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「盲導犬訓練センター子供体験DAY」開催 財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、北海道サロン)	12	沖縄県那覇市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
	09	NPO法人 バードライフ・アジア協働プロジェクト 『ナチュラリープラスの森説明会&自然観察会』開催(大阪、福岡サロン) 財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催 第14回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への協賛	2009	02 財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、 会員から寄せられた募金総額(2008年度分)を贈呈
	10	第3回「盲導犬チャリティ LPGAエバグリーンゴルフカップ」への協賛	03	理事報告会
	12	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、北海道サロン)	04	「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」へ支援開始
2007	01	財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、 会員から寄せられた募金総額(2006年度分)を贈呈	05	大阪府大阪市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
	03	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、福岡サロン)	06	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(大阪、北海道、福岡サロン) 「ナチュラリープラス こども基金」より、「盲導犬キャラバン」に支援開始 北海道札幌市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
	04	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(東京、北海道サロン) 日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」見学会開催	07	財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
	05	油山自然観察の森(福岡)、大阪南港野鳥園(大阪)にて「自然観察会」開催	08	財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催 「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催研修 「親子で1日ほっこりしましょう」を支援 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催 「がんばれ共和国 富士山キャンプ」を支援
	06	新宿御苑(東京)にて「自然観察会」開催		
	08	財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催(北海道サロン)		



- 09 「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」へ支援開始
- 11 宮城県松島町にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 12 香川県高松市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 2010 01 「ナチュラリープラス こども基金」支援により、2010年「盲導犬学校キャラバン」開催
- 04 第3回理事報告会
- 06 東京都大田区にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 07 財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪、北海道、福岡サロン）
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催
研修「絆・自立の再生村づくり」を支援
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、
財団法人 日本盲導犬協会主催の「盲導犬学校キャラバン」支援の締めくくりとして、
同協会仙台訓練センター実施の宿泊研修「ワン！ ぱっく子サマースクールin仙台」を支援
- 財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- 08 財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
- 09 第18回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 2011 01 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催 創立60周年記念チャリティー
「ハッピー60thコンサート」への特別協賛
- 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センターにて「親子体験DAY」開催
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、東日本大震災 被災地の子どもたちを、
プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス戦」に招待
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催
研修「淡路島宿泊体験学習～絆～」を支援
- 公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪サロン）
- 08 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
- 東日本大震災被災地に義援金送付
- 09 公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（北海道、福岡サロン）
- 2012 01 沖縄県那覇市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催

- 08 公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（東京、大阪、北海道、福岡サロン）
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 あしがらキャンプ」を支援
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
宿泊研修「遊びから学ぶ遊育事業～子どもたちにゆめを～」を支援
- 11 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催
第62回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」への特別協賛
- 2013 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催（東京、福岡サロン）
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
宿泊研修「サマーキャンプ～夏の思い出 子どもたちにゆめを～」を支援
- 08 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催（大阪、北海道サロン）
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「サマーキャンプ2013がんばれ共和国」を支援
- 09 「ナチュラリープラス こども基金」より、特定非営利活動法人「子供地球基金」への支援を開始
- 10 こども基金対象製品を従来の2製品から全製品に広げる
- こども基金付き製品ご購入者に「こども基金ポストカード」を進呈
- 11 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催
第63回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」に特別協賛
- 12 フィリピン共和国の台風被害に対して義援金送付
- 2014 06 東京都大田区にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 07 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催（北海道サロン）
- 08 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「がんばれ共和国 セタキャンプ」を支援
- 公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催（大阪、東京、福岡サロン）
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
宿泊研修「夏のおもてなし研修」を支援
- 10 「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO法人「子どもの村 Kyoto」主催
「人とのつながりを学ぶワークショップイベント」を支援
- 「ナチュラリープラス こども基金」より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催
「あおぞら共和国」建国に向け、ウォーキングイベントを支援
- 11 社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催 第64回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」に協賛

株式会社 ナチュラループラス

〒106-6035

東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー35F

TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011

URL <http://www.naturally-plus.com>

